



# 南町小だより

つよく かしこく あたたく

平成27年10月30日

校長 福田 俊彦

## 1学期をもとに 2学期に向けて

校長 福田 俊彦

10月3日に行われました運動会には、多くの地域、保護者の皆様にご臨席を賜りました。ありがとうございました。子供たちに繰り返し話してきた「自分の力を出し切ること」「仲間に元気な声援を送ること」「感謝の気持ちをもって取り組むこと」は、運動会後の学校生活を創ることにもつながっています。今日まで、5年生にとっては初めての移動教室があり、2泊3日の武石での生活を体験してきました。運動会での学びが、生活の各所で見られたことは、子供の成長を感じ取る場面ともなりました。5年生は、6年生とのかかわりの中で、多くのことを学んできました。そのことが行動として、態度として見られた2泊3日は、これからの学校生活を創る原動力となっていくことと期待しています。そして、後輩へと受け継がれていくことに、南町小学校の伝統、文化を感じています。

さて、年度当初に地域、保護者の皆様にお伝えしたことをもとに、これからの取り組みについて示させていただきます。

### 1 人権尊重教育推進校「互いを認め合い、差別をしない・させない・見過ごさない」

開進第二中学校、向山小学校とともに9年間を見通した人権教育を進めています。地域で生活をする子供が、地域の方々、自然、文化とのかかわりの中で、よりよい生活を創るためにできることに気付き、行動できるよう教育活動を展開しています。これからも、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができる態度を伸ばしていくよう取り組んでいきます。

### 2 「わかる」「できる」授業の創造

授業に対して、子供たちがめあてをもち取り組んでいる時の姿は、活気に満ちています。させられているのではなく、しているからです。全学級では、授業の初めに、学習のめあてを子供に伝えています。黒板に書いています。何を、どのように学習するのか、見通しをもてることは、「わかる」「できる」授業を創り出す第一歩と考えているからです。授業公開では、この点からも参観をしていただければ幸いです。

### 3 家庭とともに創る健康

「早起き 朝ご飯 早寝」の状況はどうでしょうか。登校する子供たちを迎えていると、その表情や会話からいろいろなことが伝わってきます。規則正しい生活は、自分の健康を創る基礎となり、よりよい生活を創る原動力となることが、経験を通して理解できると考えています。正に、「なすことによって学ぶ」です。家庭と学校での連携のもと、子供の健康創りに、これからも取り組んでいきます。

### 4 危険を予知し回避する力の向上

「自分の命は自分で守る」を繰り返し指導し続けています。その力を子供の行動から見るができます。地震が起こったらどう行動するのか。先日、校庭開放の時間帯に地震がありました。校庭で遊んでいた子供は、遊びを止め、放送の内容を聞き、安全を守る行動ができました。子供に伝えなければならないことを繰り返し指導することは、これからの教育においても重要なことと捉えています。

今後とも、南町小学校の子供を「みんなの子供」として、見守っていただけますようお願いいたします。